附属札幌中学校「学校だより」

藤　房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和7年6月30日発行

No.4

第１学年　校外学習を終えて

自分の可能性を信じる、みんなで過ごした学びの一日

第１学年主任　髙橋　翔太

５月 28 日に実施された校外学習が無事に終了しました。第１学年、80 期生にとって初めての校外活動となった今回の取組は、「一人一人が自分の可能性を信じられる集団になる」という学年目標のもと、「みんなで・同じ時間に・同じことをすること」を大切にしながら実施されました。

午前中のフィールドワークでは、あいの里地域を自分たちの足で巡り、「時間を守って行動すること」「地域を知ること」「地域の良さや課題を発見すること」を目的に活動しました。あいの里の地図を読み、各チェックポイントではミッションに挑戦しながら、地域の特色を楽しく学ぶ姿が見られました。仲間と声をかけ合い、時間通りに行動するその姿からは、一人ひとりの工夫や責任感が感じられました。また、普段何気なく見ていた風景の中に、人々の営みや地域の魅力を見いだす姿もあり、地域とのつながりを体感する有意義な時間となりました。

午後の藍染め体験では、あいの里という地名の由来にもなっている「藍」にふれ、一人一人が自分の感性を活かして布を染め上げました。思い通りにいかない場面もあったかもしれませんが、完成した作品を手にしたときの生徒たちの表情には、自信と達成感があふれていました。事前に北区役所の方からご講演をいただいていたこともあり、活動の背景や意味を理解した上で取り組むことができたのも、大きな学びとなりました。「自ら挑戦の機会をつくり、失敗から学ぼうとする姿勢」を、多くの生徒が実感できたように感じます。

また、学年レクでは、学年プログラム委員会を中心に、全員が一つになって楽しむ姿が印象的でした。級友だけでなく、他学級の仲間にも温かい声援を送り合う姿が多く見られたことは、80 期生の素晴らしさの一つと言えるでしょう。一人一人がもつ可能性を重ね合わせることで、私たち教員の想像を超えるエネルギーと団結力を生み出す力に、感嘆するばかりでした。

どの活動においても、「仲間と支え合う姿」が見られたことが、今回の校外学習をより意味あるものにした要因だと感じています。まさに、行事はその日だけで完結するものではなく、日々の積み重ねによって築かれ、終わったあとにこそ意味が深まるものです。校外学習の翌日、生徒たちは少し疲れを見せながらも、それぞれが何か大切なことを得たような表情で登校してきました。そして、活動の成果や課題を自らの言葉で共有し、今後の生活に生かそうとする姿勢も見られました。宿泊学習や藤華祭、そして日常の生活の中でも、今回の経験を生かしながら、よりよい集団づくりを目指していってほしいと願っています。

最後になりましたが、事前の準備や当日の御参観、活動への御理解と御協力をいただいた保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。生徒・保護者・学校が一体となって取り組んだこの経験は、80期生にとってかけがえのない学びと成長の一日となりました。今後の活動にも、引き続き温かい御支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

実りある校外学習

第1学年実行委員長　小林　奨

今回の校外学習は、互いに応援し支え合うことができた学びのある学習になりました。

私達、80 期のゴールは「一人一人が自分の個性を信じられる集団になる」です。このゴールを達成するための4つのアクションプランがあります。

①　自ら機会を作る　②失敗から成長する　③仲間の変化を応援する　④できていることに目を向ける

これらを頭に入れながら、校外学習に向けて、準備をしてきました。

総務係は結団式や出発集会の司会、進行や学年レクの計画を担当しました。司会が事前に入念な計画を練っていたおかげで、スムーズに行うことができました。学年レクではクラス対抗の綱取り合戦をしました。大きなアクシデントもなく、みんなが本気になって楽しむことができたことが良かったことだと思います。生活係は主に校外学習のルールに関わる内容を担当しました。お買い物をしているとき、買ったものがみんなで決めたものかどうかを見極め注意してくれました。このときには周りをよく観察して、それを行動にうつすことが大切です。そのため、③のアクションプランが成長したのではないかと感じています。 FW 係は主に校外学習当日のウォークラリーのルート決めをやってくれました。ルート決めのとき時間を考えながら、時間が間に合うかみんなが疲れずに楽しむことができるか注意を払ってくれました。校外学習当日は、FW の方たちが率先してルートを確認してくれてとっても助かりました。 AW 係は、ウォークラリー後の藍染のときにみんなを助けてくれました。藍染は難しい工程があるため、AW の方が事前にやり方を学習し、頭に入れみんなに教えてくれました。おかげでみんな上手に作ることができました。広報係はホームページの作成や、しおりの作成。フォトコンテストの計画をしてくれました。ホームページの作成は、一年生だけでなく保護者の人も読めるように作成してくれました。

このように 80 期全員が協力して校外学習を終えることができました。この校外学習で楽しかったこと、嬉しかったことがたくさんあると思います。それをぜひ家庭で話してみてください。ですが、話の中で校外学習で失敗したということがあると思うので、その経験を今後の学校生活に活かし、一人一人が自分の個性を信じられる集団になれるように日々努力していきます。

第2学年　宿泊学習を終えて

実り多かった宿泊学習

第2学年主任　山下　彩

「来今回の宿泊学習は「理想の生き方・働くこと」を大きなテーマに、生徒たちが小樽での自主研修と余市での農業体験を通して、普段の学校生活では得られない貴重な学びと経験を積むことができました。

小樽の自主研修は、南小樽駅現地集合、ホテルにも JR で向かうというハードルが高めな行程でした。しかし生徒たちが自分たちで計画を立て、時間配分を工夫し、協力しながら行動する姿が見られ、働く人たちへのインタビューとともにランチやデザートを楽しみました。グループ内で役割分担を行い、時間通りに行動する計画性、そして何よりも協調性が大きく育まれたと思います。ホテルでは小樽の工芸品であるガラスのトンボ玉でものづくり体験をしたり、堺町通り商店街の方々の働くことにかかわる講話を聞いたりして思い出を作りました。

余市での農業体験は、今回こだわりをもってプログラムに組み込みました。中学生が「働くこと」を想像するとき、第一次産業に思いを馳せる人はなかなかいません。ですが、私たちの生活、もっと言えば生きることに直結する大切な仕事です。ぜひこの機会にその仕事をしている人たちと触れ合ってほしいと考えました。主に海の保全に関わる人たちやワインブドウの生産に関わる人たちからお話を聞いたり実際に作業をしたりしました。慣れない手つきで作業に励んでいました。最初は戸惑いが見えましたが、時間が経つにつれて普段の学校生活では見られないような生き生きとした表情で活動する姿が見られてうれしかったです。

御家庭の御協力もあり、宿泊学習は生徒たちにとって多岐にわたる学びの機会となりました。教室での学習だけでは得られない、五感をフルに使った体験を通して、生徒たちは大きく成長したと確信しています。この宿泊学習で得た経験を、総合的な学習の時間につなげ、理想の生き方や働くことについての自分の考えをより深めてほしいと願っています。

宿泊学習が教えてくれたこと

第2学年実行委員長　山下　紗季

今回の宿泊学習では、たくさんの学びを得ることができました。総合的な学習の時間では、理想の生き方について考え、そのテーマに合わせて、どのような情報を知りたいのか考えて作った質問や調査にチャレンジしました。特に小樽の堺町商店街でのインタビューでは、班で計画を立てて地域の方々にお話を伺ったことが印象に残っています。お忙しい中とても丁寧に細かく親身に答えて下さり、とてもメッセージ性があり貴重なお話を聞かせていただきました。また、とんぼ玉作りやニセコのエコビレッジでの農業・ワイン作り、インタビュー交流会など、普段

できないような活動にも仲間と協力して挑戦し、かけがえのない経験と思い出ができました。仲間と助け合い、初めて取り組むことにも前向きにトライすることで自分自身の成長を感じることができました。

宿泊を通して、丸 2 日同じ時間を共有する中で、お互いの新しい一面を知り、仲間との絆、学年全体の一体感がさらに深まったと思います。

そして、今回の学習でお世話になった先生方や家族、地域の方々への感謝の気持ちを改めて感じています。これまで当たり前のように感じていた日常や、周囲の方々の支えのありがたさにも気づくことができました。

この経験や感謝の気持ちを、今後どのように形にしていくか、私達のこれからの姿に活かしていけるよう、みんなで考え続けていきたいです。本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

■ 生徒総会

5月30 日には、生徒総会が開催され、活発に意見が交わされました。本校は全校生徒が委員会・局会に所属し、生徒全員が主体的に、よりよい学校づくりを目指して参画するという特徴があります。特に、質疑応答の時間には積極的に手を挙げて、即興で質問をしたり、意見を述べたり活発な議論が行われました。生徒会役員を中心とした各委員長の計画的な準備のおかげで、内容の濃い総会になりました。

■ 避難訓練

6月10日には、小学校、中学校、ふじのめ学級合同での避難訓練を実施しました。不審者への対応について訓練しました。生徒たちは、教職員の指示をよく聞き、落ち着いて行動することができました。不審者が校内に侵入したことを想定し、教室内への避難やバリケードの設置、安全確認の流れなどを実践しました。訓練後には、各学級で振り返りを行い、「自分の身を守るためにできること」について考える機会ともなりました。今後も、万が一の事態に備え、継続的に防災・防犯意識を高めていきたいと考えています。ご家庭でも、危険を感じたときの行動について、ぜひ話し合ってみてください。

■「北海道地区 PTA 連合会総会・実践活動協議会」

6月3日、北海道地区 PTA 連合会総会・実践活動協議会（道附P連）がオンラインで行われました。道附P連は、札幌・函館・旭川・釧路の幼・小・中計12団体が、互いのPTA活動について交流する場です。今年度の協議会のテーマは「各学校園での PTA 活動の工夫と挑戦について」です。各校からご参加いただいたPTA役員の皆さんが、それぞれの PTA 活動の特徴について交流し、本校も昨年度の PTA の実践を報告しました。交流を通して知り得た他地区の PTA 活動のよさを参考にしながら、よりよいPTA活動につなげたいと思います。

7月の行事予定

日（曜日）	行事等の予定	下校バス時刻（予定）
1（火）	生徒会役員選挙告示／立候補者受付開始／合唱祭学活	16:20
2（水）	【研究日】簡易清掃	16:10
3（木）	藤華祭 PJ②	16:20
4（金）	附属小学校教育研究大会（中学校休業日）	-
5（土）	中体連（テニス） 部活動可	-
6（日）	中体連（バスケットボール） 部活動可	-
7（月）	附属小6年授業見学（5校時）	16:20
8（火）	【職員会議】	15:10
9（水）	【研究日】簡易清掃／生徒会役員選挙立候補〆切	16:10
10（木）	藤華祭 PJ③	16:20
11（金）	昼）立候補者・責任者説明会／3年総合 FW①	16:20
12（土）	部活動可	-
13（日）	部活動可	-
14（月）		16:20
15（火）		16:20
16（水）	【研究日】簡易清掃	16:10
17（木）		16:20
18（金）	D 組給食交流	16:20
19（土）	部活動可	-
20（日）	部活動可	-
21（月・祝）	海の日／部活動可	-
22（火）	藤華祭 PJ④	16:20
23（水）		16:20
24（木）		16:20
25（金）	3 時間後給食／D 組給食交流／夏の大掃除 5時間日課	15:20
26（土）	部活動不可（研究大会準備のため）	-
27（日）	部活動不可（研究大会準備のため）	-
28（月）	夏季教育研究大会（※各学級の授業時間に登校）	-
29（火）	夏季休業前集会／前期期末テスト範囲表配付	12:05